

事務事業名		「佐野暮らし」のすすめ推進事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)	
政策体系	基本目標	3 魅力と活力ある産業づくり					担当組織	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課
	政策	1 産業振興で活力のあるまちづくり					担当係	政策調整係	担当課長名	大木 聡	
	施策	1 都市型農業の推進と中山間地域の活性化					新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	3 中山間地域の活性化					実施計画事業・一般事業		実施計画事業		
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名					
	1295	一般	2	1	7	「佐野暮らし」のすすめ推進事業					
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	H22年度～ 年度		根拠法令 条例等	さの暮らしサポート事業補助金交付要綱					
	事業区分		実施方法		事業分類		リーディングプロジェクト		市長マニフェスト		
										市単独事業・国県補助事業 市単独事業 任意的事業・義務的事業 任意的事業 直営 その他直接サービス提供事業 該当 3-7	

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)										
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)			平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)							
田舎暮らしを希望している人に、佐野の良さを知ってもらい、佐野に住んでもらう。また、現在佐野に住んでいる人には、ずっと佐野市に住んでもらえるようにする			栃木県里の“守”サポート事業を導入し、秋山地区で地区住民による課題把握と解決に向けた会議を行った。(平成26年10月から毎月1回、平成27年3月までの計6回)							
佐野に移住または二地域居住をしてもらうための仕組みを検討する。田舎暮らしを推進するために、中山間地域の活性化は必須であり、地域課題解決に向けて話し合った内容の実践活動に対し支援する。			新潟・福島・茨城・栃木・群馬5県合同移住相談会に出展し、移住を検討している人の相談を受けた。(平成26年12月6日)							
			活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			イベント出展回数	回	2	1	2	2	2	2
			研修会等参加	回		3	3	3	3	3
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)										
①田舎暮らしに興味・関心のある人 ②中山間地域の住民・団体			対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)	
			「佐野暮らしのすすめ」に関する問い合わせ件数	件	13	5	20	25	30	
③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)										
①佐野の良さを知ってもらい、佐野に住んでもらう ②中山間地域の課題解決に向けた取組が行われる。			成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			「佐野暮らしのすすめ」に関する問い合わせ件数	件	13	5	20	25	30	
			課題解決に向けた話し合いを行った中山間地域の集落	団体	0	1	1	1	1	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)										
移住、2地域居住をしてもらう。			上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
			「佐野暮らしのすすめ」に関する問い合わせ件数	件	13	5	20	25	30	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円		297	2,000			
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円	50	0	1,000			
	事業費計(A)	千円	50	297	3,000	0	0	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			負担金	50	委託料	297	補助金	3,000
	人件費	千円	195	1,182	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)	千円	245	1,479	3,000	0	0		

事務事業名	「佐野暮らし」のすすめ推進事業	担当部	総合政策部	担当課	政策調整課	担当係	政策調整係
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	佐野市では平成2年をピークに人口減少となっており、特に中山間地域ではその傾向が強い。中山間地域では、むらづくり活動が活発に行われてきたが、平成22年、市長のマニフェストに佐野市の中山間地域の活性化と定住化を目指す「佐野暮らしのすすめ」が掲げられ、本事業が
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	国全体での人口減少が始まり、特に地方の中山間地域での減少率が高く、また、高齢化率も進行してきている。国は「地方創生」を掲げ、東京一極集中の是正のため、地方の特色を生かした各種施策を推進するよう働きかけがある。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
現状維持	

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案	中山間地域の活性化を図るための事業であり、政策体系に結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案	少子高齢化が急速に進む中山間地域の課題を解決することで、コミュニティの維持、再生を図ることを目的としており、市の責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案	田舎暮らしを考えている人は、近年多くなってきており、その方たちに佐野市に興味・関心を持ってもらうことで、佐野市への移住のきっかけとするため妥当である。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がかなりある	理由・改善案	中山間地域の活性化や移住・定住を図る手段は、多種多様であり、いかに効果のある事業を打ち出せるかにより、成果向上が図れる。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案	類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案	成果を上げるためには、事業費・人件費共に増やすことが必要であり、現状からの削減はできない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案	
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	中山間地域の人口、特に年少人口、生産年齢人口が増加傾向になったとき		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 効果的な施策を検討、整備する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			